

宍粟市市長 様

平成5年12月5日

# 新病院整備事業に関して 見解を求める要望書

未来へつなぐ新病院を考える市民の会

# 新病院整備事業に関して見解を求める要望書

令和5年12月5日

宍粟市市長 殿

住所：宍粟市千種町 [REDACTED]

団体名：未来へつなぐ新病院を考える市民の会

氏名：代表 中島秀志

## 【見解を求める趣旨】

当会は持続可能な病院経営を求めるものであり、有効な税金使途により、住民福祉の増進を願うものである。地域経済の活性化・人口減少の歯止め、有効な施策の実施や安心・安全な暮らしやすい街を望み、多くの賛同署名を添えて、新病院整備事業に関して見解を求める要望書を提出するものです。

1)

今後、新病院整備事業費約156億円の事業がこのまま進めば将来、市民にとって多大な負担になります。

それは、①事業費の過剰投資による負担。②新病院会計の赤字補填の税金負担。③赤字補填に伴う市民生活の負担。

(公共料金値上げ・行政のサービスの削減等)の懸念があります。

新病院事業156億円の見直しを求める署名7,535筆を添付致します。

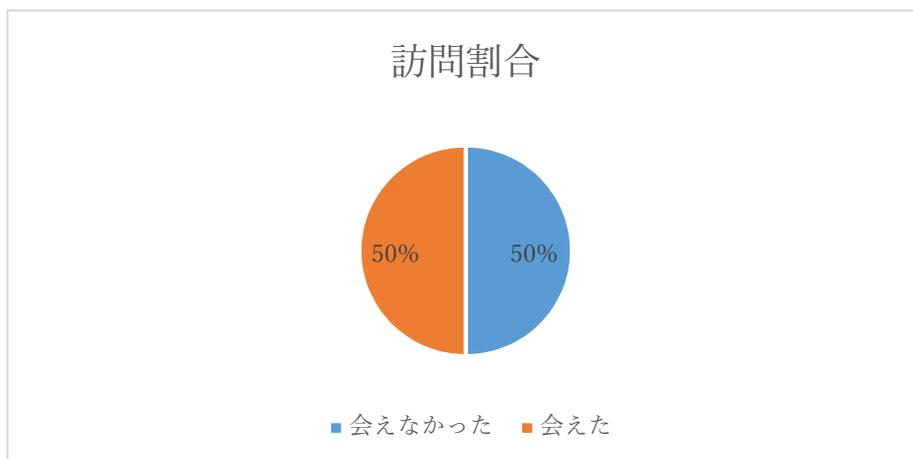
見直しを求める署名は市民の意思の表れです。この事を尊重して頂き、新病院事業の見直しを求めます。

ご見解を求めます。

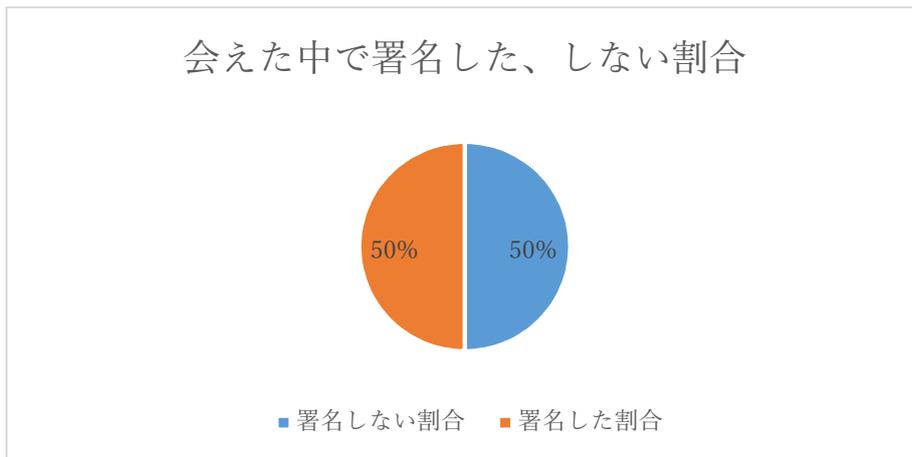
2) 署名活動を行った中で個別訪問(直接、会う事)をした人の情報を集計した結果、以下の事を確認できました。

①市内約8割(有権者数約30,000人の内、約24,000人)に個別訪問を実施した結果、

約5割が留守もしくは家族全員に会えず。会えた人数は約12,000人であった。



②直接、会えた人に意見を伺い、説明をすると約5割の人が署名をした。署名数は約6,000人であった。

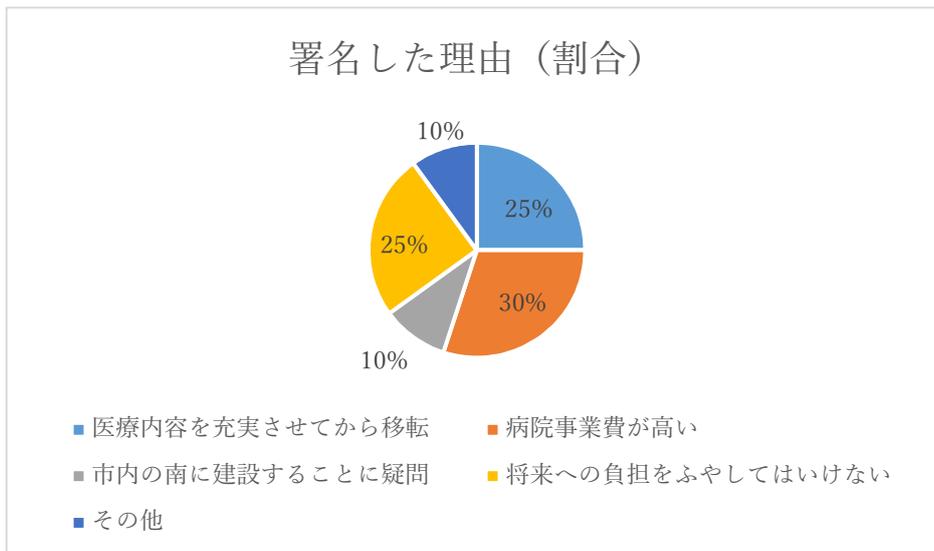


③署名した人の中で多かった理由は、病院事業費が高い、医療内容の充実、将来の負担増だった。

「医療内容の充実」とは、良い医師に来て欲しい。整形外科や眼科を常勤医師の対応にして欲しい。医師確保が最優先すべき。総合病院の対応が悪いので信頼できるスタッフが必要。であった。

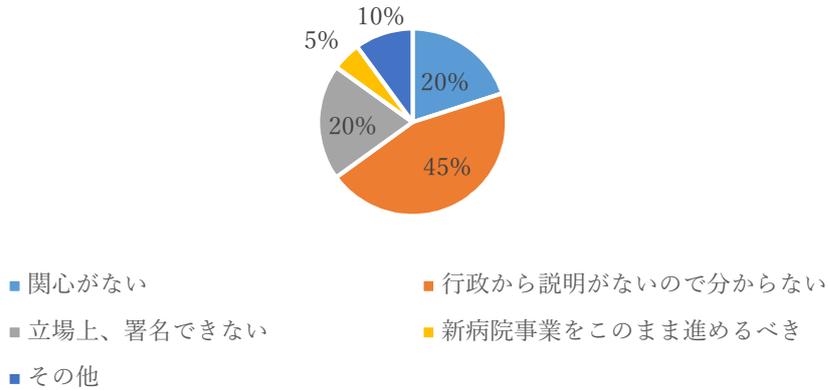
また、会えた人の殆どが施工業者と随意契約や現在の医療体制が変わらずに移転することに対して知らなかった。その他の意見として、現在の病院を修繕して利用。災害リスクが高い。などがあった。

移転地に対して、疑念であったり、移転ありきで進められていることに理解が得られていない感触であった。



④署名しなかった人の中で最も多かった理由は行政からの説明がないので分からないだった。関心がないは2割を占めた。「立場上、署名できない」は、親族が総合病院・行政・自治会役員等にいる為、署名したいができないであった。また、新病院事業を進めるべきとの意見はごく僅かであった。その他の意見として、無理だと諦めている。行政が進めているから。病院が新しくなることに賛成。などがあった。

### 署名しない理由（割合）



#### 【まとめ】

直接、会えた 12,000 人の 5 割の 6,000 人が新病院事業の見直しに署名を致しました。

この割合を、宍粟市の有権者全国に当てはめると半数の市民が新院事業の見直しすべきとなります。

また、会えた人の中で、新病院事業をこのまま進めるとの意見は僅か 2.5%しかありませんでした。

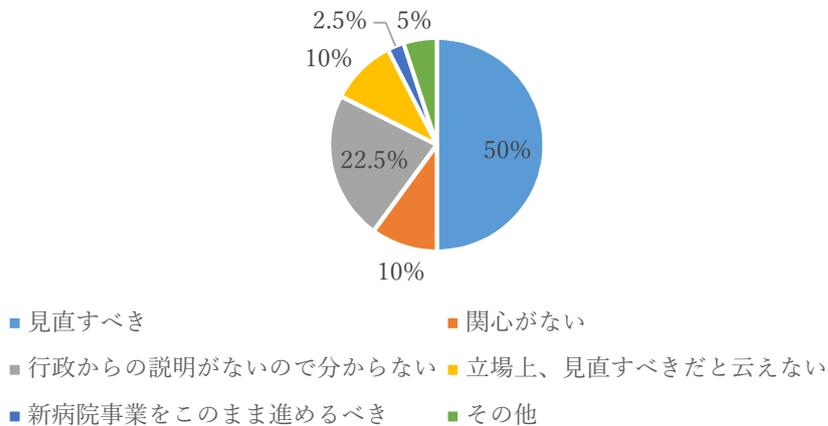
新病院事業をこのまま進めるとの意見は僅か 2.5%」を優先するのではなく、「半数以上の見直しの意見」を尊重すべきです。

署名をしなかった人の多くは行政からの説明がないので分からないからの理由でした。

市民説明や市民意見の反映について、行政当局は、アンケート、タウンミーティング、パブリックコメントを行った。市広報、しーたん放送などで十分説明を尽くしたとのことであるが、新院事業に係る情報に対して、ほとんどの市民が内容を知らなかったのが現実です。

このような中で、新病院事業を進める事に問題ありと感じざるを得ません。

### お会いできた人の新病院建設に係る意見



宋栗市始まって以来の巨額を投ずる（多額の税金を使う）事業であり、将来の世代にツケを廻すことは許されせん。市民に十分な説明と市民の意見を事業に反映させることを通じて、持続的な医療提供体制に責任をもつべきと考えます。

ご見解を求めます。

1)2)について、ご回答を下記の日時までにお問い合わせをお願いします。

ご回答を市民にお知らせいたします。

回答日：令和6年1月12日（金）まで

回答先：未来へつなぐ新病院を考える市民の会

事務局 古河 修

住所：〒671-2575 宋栗市山崎町山田 173-3

電話：0790-62-2394 E-mail [nqg45278@nifty.com](mailto:nqg45278@nifty.com)

宍粟市市長  
福元 晶三 様

来来へつなぐ新病院を考える市民の会  
代表 中島秀志  
事務局 古河修  
0790-62-2349

## 新病院計画見直し案について

### 1. 新院見直し計画案について

					(単位: 千円)
区分		2/20行政計画	当会の提案	差額	備考
建設工事費		11,922,257	6,844,800	-5,077,457	
	土地造成費	629,800	629,800	0	
	建設工事費	10,588,270	5,915,000	-4,673,270	
	病院棟	9,716,004	5,460,000	-4,256,004	140床×1床当たりの延床面積65㎡×建築単価@650千円
	会議室棟	493,224	0	-493,224	訪問看護は院内に設置。トイレ数変更、コンビニ、大会議室廃止
	院内保育所	188,034	61,200	-126,834	(200㎡×@306)地上1階木造:現在並の広さに変更
	研修医宿舎	183,600	183,600	0	(600㎡×@306)地上2階軽量鉄骨造
	倉庫、車庫			0	
	外構工事費	704,187	300,000	-404,187	ホスピタルガーデン廃止、植栽の簡素化
	調査費・基本、実施、造成設計費	257,400	257,400	0	
	監理費等	108,240	108,240	0	
	医療機器等整備費	2,211,000	2,211,000	0	
	コンサルタント業務委託料	104,577	104,577	0	
	什器備品購入費	138,600	138,600	0	
	移転費	60,000	60,000	0	
	技術協力・追加工事費等	28,673	28,673	0	
	予備費	738,788	0	-738,788	予備費不要
合計		15,569,535	9,753,290	-5,816,245	

※病床数は、人口減少に伴う医療要減少に対応した 140 床に設定。

※1 床当たりの延べ床面積は、全国並みの 65 ㎡に設定

※建築単価は、建築資材の高騰を鑑み、計画の 604 千円を上回る 650 千円で設定。

※会議室棟は不要。

※ホスピタルガーデン廃止、メンテナンスも考慮し、植栽は簡素化する。

### 2. その他、概要・特記事項について

#### 1) 医療内容の充実

- ① 要望の高い整形・眼科、麻酔科を常勤化。
- ② 療養病床の設置 (入院期間 60 日以上)

2) 市内開業医との信頼関係強化の実施

① 紹介率の向上 (60%以上)

3) 経営形態を一部適用から全部適用に変更。

① 労務管理の徹底

4) 医師、看護師の接客態度に関する評価が低いのでサービスレベルを上げる。

① 患者満足度調査の強化

② 風通しの良い職場環境の醸成、組織内の横の繋がり強化

以上が、当会の提案です。

よろしく申し上げます。